

DESCENTE



デサントグループ
CSRLレポート2016



はじめに

デサントグループは、社会との持続的な相乗発展のために、CSRに関する考え方や取り組みについてステークホルダーの皆様にお伝えしご理解頂くことを目的として「デサントグループCSRレポート」と「Webサイト」を作成しています。

「Webサイト」は、CSR活動全般について網羅的に掲載し、検索性に配慮しています。

本書「デサントグループCSRレポート」は、自社で重要度が高いと判断した内容をISO26000を参照しご報告するとともに、より多くの皆様にお読み頂きたいテーマを特集ページとして取り上げています。

ステークホルダーの皆様との対話をより深めるために、特集ページでは、当事者や参加者の「Voice(声)」を大切に、楽しく読みやすいことを目指して作成しました。

本書が、読者であるステークホルダーの皆様にとって、デサントグループが果たすCSRへのご関心・ご理解の一助となれば幸いです

▶企業理念

すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを

スポーツ本来の「体を動かす楽しさ」、「競い合う楽しさ」を提供することで一人一人のいきいきとしたライフスタイルの創造に貢献します

▶CSR方針

1. デサントグループは、企業理念に基づき、スポーツを通じて人々の身体と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献します。
2. デサントグループは、経済・社会及び環境との関わりの中で求められる期待に、事業活動を通じて応えることによって、社会とともに持続的な相乗発展を目指します。
3. デサントグループは、「デサント倫理綱領」「デサント倫理行動基準」に基づき、国内外において人権を尊重し、関連法令及び国際ルールを順守しつつ、高い倫理観と向上心を持って行動します。

▶デサントグループ CSRレポート 2016

目次

■ トップメッセージ	2
■ お客様とのかかわり	
特集 競争力の源泉「モノを創る力」「売り場を作る力」	3
■ 地域社会とのかかわり	
特集 1. 「すこやかキッズスポーツ塾」東北支援2015	5
2. ドリカムスクール	7
■ 従業員とのかかわり	9
■ 海外での取り組み	
デサントコリアの社会貢献活動	11
■ コーポレート・ガバナンスとコンプライアンス	12
■ サプライチェーンマネジメント	13
■ 環境保全への積極的な取り組み	14

報告の対象期間

原則として2015年4月から2016年3月までを対象期間としていますが、当該期間以前もしくは以後の活動内容も含まれています

東京都スポーツ推進企業に認定 (2015年12月)



デサントは、2015年度に創設された「東京都スポーツ推進企業認定制度」に基づき、スポーツ分野で社会貢献活動を実施する企業として認定されました。当社が1998年より運営する「知的障害者施設や特別支援学校の生徒を招待した目白ロードレース」の取り組みが認められたもので、今後もスポーツ文化事業を通して社会貢献活動を実施していきます。

スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT) コンソーシアム会員に加入(2015年11月)

日本政府が推進するSFTは、開発途上国をはじめとする100カ国以上・1,000万人以上を対象に、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げる取り組みです。デサントが1990年から協賛する「WCBF世界少年野球大会」が評価されました。

▶SFTの3本柱:



1. スポーツを通じた国際協力及び交流



2. 国際スポーツ人材育成拠点の構築



3. 国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援

国連グローバル・コンパクトの一員として



Network Japan
WE SUPPORT

デサントは、理念である「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則を支持し、社会の良き一員として責任あるリーダーシップを発揮すると同時に、これから当社グループが一層のグローバル化を進めるうえで、基本となる行動指針として捉えていきます。そして、持続可能な地球社会の実現に貢献できるよう、より一層、積極的に活動していきます。

代表取締役社長 石本 雅敏

トップメッセージ



代表取締役社長

石本 雅敏

いしもと まさとし

「すべての人々にスポーツを遊ぶ楽しさを伝えることがデサントグループにとって身近な社会貢献活動」

ステークホルダーの皆様にとって、当社が安定的に存続し、成長していくことは、絶対的に不可欠なことです。当社が継続的に安定して発展していくためには、安定的な事業基盤をいくつ持っているか、が重要です。基盤は2つよりは3つ、さらに4つあったほうが、より安定しますので、現在の日本と韓国という2つの事業基盤に、さらに第3、第4の柱となる基盤をつくるべくエリア戦略を続けていく必要があると考えています。

ブランド事業では、アジア全体、そして世界全体で展開できるブランドを5つ持っています。『デサント』『ルコックスポルティフ』『マンシングウェア』『アリーナ』『イノヴェイト』です。この5つのブランドをグローバルでグループの基幹ブランドとして育成して、リスクを分散し、得意なカテゴリーで伸ばしていくことにより、安定的な成長が可能となります。当社が事業領域とするスポーツ用品市場は、世界的な健康ブームに支えられて拡大が見込める市場なので、この領域に事業基盤の中心を据えて、成長戦略を実行していきたいと考えています。

新中期経営計画（2016～2018年度の3カ年）「Compass 2018」の中では、商品企画開発力をさらに高めることを重点戦略のひとつとして掲げています。アパレル

のR&Dセンターを日本に、シューズのR&Dセンターを韓国に新たに設立し、グローバル市場に向けた高機能商材を開発し、「モノを創る力」を向上させていきます。また日本のモノ創りを、もう一度見直し、ブラッシュアップして、国内の自社工場の能力増強による開発力強化と生産力拡大を実施します。売場はブランドと顧客の最も重要な接点と位置付けて、商品企画力、接客販売力、VMD（ビジュアル・マーチャンダイジング）による表現力など、「売場を創る力」を高めていきます。

当社の社会貢献活動には「すこやかキッズスポーツ塾」のように独自に実施しているものや、世界少年野球推進財団（World Children's Baseball Foundation:WCBF）の活動に協賛するものなど、様々な活動がありますが、スポーツを生業とする当社では、スポーツの楽しさを伝えていくことが我々の身近な社会貢献活動であると考えています。また、韓国におけるデサント코리아（株）の社会貢献活動のように、事業活動を通して得た利益をそのエリアに還元していくことも大切な活動です。

ビジネス全体の業務フローにおいて、環境に有害な影響を及ぼすような生産工程で作られた素材は、製品の素材としては使用いたしません。また、廃棄する時に大きく環境を壊してしまうような素材も使用いたしません。もともと大きく環境に負荷を与えるような事業構造ではないものの、身近なところでできる環境対策としてオフィスビルのCO₂排出量を削減する活動を推進し、従業員の環境に関する意識向上を図っています。

今後もステークホルダーの皆様とより良いコミュニケーションを深めて、多くの人々にスポーツを遊ぶ楽しさを提供し、社会の持続的な発展とともに当社の成長を推進していきます。

お客様とのかかわり

デサントは、スポーツを愛する世界中のお客様をサポートするため、常に安全で高機能・高品質なスポーツウェアづくりに努めています。



競争力の源泉：「モノを創る力」「売り場を創る力」

デサントの競争力の源泉はスポーツウェアの開発力です。お客様のご要望を聞き、それにお応えするために技術と発想力で、常に新しい商品を開発します。商品をお届けする売り場は、単なる販売の場ではなく、お客様との重要な接点であり、デサントからの情報の発信地でもあります。デサントは新鮮で、驚きがあり、楽しく買い物ができる、そんな売場を創ります。「モノを創る力」と「売り場を創る力」を高めて、お客様に満足いただける商品をお届けしていきます。

モノを創る力

▶ ISPOアワード金賞を4年連続で受賞



ISPO AWARD
GOLD WINNER
2015/2016



『デサント』
「水沢ダウンジャケット ストーム」



ISPO AWARD
GOLD WINNER
2016/2017



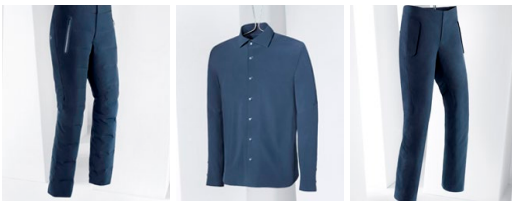
『イノヴェイト』
AT/CサーモシェルHZ (アウター)

2015年2月、ドイツ・ミュンヘンで開催された「ISPOミュンヘン2015」において、『デサント』ブランドの「水沢ダウンジャケット ストーム」がISPOアワード金賞を受賞しました。これに続き、2016年1月の「ISPOミュンヘン2016」では、『イノヴェイト (inov-8)』ブランドの「AT/CサーモシェルHZ」が同じく金賞に輝きました。『デサント』ブランドでは2013年から3年連続、デサントグループに加わった以降の『イノヴェイト (inov-8)』ブランドでは初となる快挙です。

▶ 『オルテライン』と『イノヴェイト (inov-8)』も入賞

「ISPOミュンヘン2016」では、『デサント』ブランドの「オルテライン」で3商品、さらに『イノヴェイト (inov-8)』ブランドでも1商品が入賞しています。

『デサント』 デサント オルテライン



水沢ダウンパンツ
クローム

S.I.O.
(エス アイ オー)
シームレスシャツ

BOA(ボア)
ユニフィットパンツ

『イノヴェイト』



レースウルトラ BOA
(バックパック)

▶ ISPOアワードとは

50カ国以上、約2,500ものブランドが出展する世界最大規模のスポーツ用品の見本市・ISPOにおいて、商品のコンセプト、デザイン、技術、環境への配慮などの項目の厳正な審査のもと、優れた商品に贈られる賞で、2016年で5回目を迎えました。

▶ 『イノヴェイト (inov-8)』がデサントグループに仲間入り

2003年にイギリスで誕生した『イノヴェイト (inov-8)』は、「裸足の感覚で走る」がコンセプトのオフロードランニング用シューズに加え、ウェア類もISPOアワード入賞を重ねるなど高い機能性を誇ります。デサントでは2013年より同ブランドを展開中で、2015年8月に『イノヴェイト』グループを子会社化。今後、双方の強みを活かしたグローバルな事業拡大を図ります。

▶ 社内表彰制度「デサント・デザインアワード」をスタート (2015年6月・12月)

デザイン力の強化を目的に、社内コンテスト「デサント・デザインアワード」を企画し、半期に1回実施しています。これは、当社が展開する各ブランドのキーアイテムの中から、最もデザインの優れたアイテムを選考する社内コンテストとして、2015年秋冬商品を対象にした初回に続き、第2回は2016年春夏商品で競いました。選考は社外の100名以上の雑誌編集者の方々の投票で決定しました。今後も外部の表彰制度への参加だけでなく社内コンテストも実施し、「モノを創る力」や「売り場を創る力」を研鑽し、一人でも多くの方に喜んでいただける商品を提供できるよう、努めます。



第1回最優秀賞

「カッターアンドバック」
「ウルリッチ」コラボレーション
デザイナー：沼尾 孝・山口 政人・竹内 陽介



第2回最優秀賞

『デサント』オルテライン
ストリームラインシェルジャケット
デザイナー：山田 満

お客様とのかかわり

売り場を創る力

新業態の直営店「DESCENTE BLANC (デサント ブラン)」を代官山・福岡・大阪にオープン

「DESCENTE BLANC」は、モノの本質を理解する都市型生活者の男女をターゲットに、スポーツブランドが考える心地よいライフスタイルを提案する新業態の直営店舗です。その店舗設計の特徴は空間に動きを取り込むことであり、昇降するラックを取り入れ、ディスプレイを日々変化させるつくりとなっています。街に溶け込んだ建物本来の姿をそのまま活かしたシンプルな内装を用い、「モノの本質をきちんと伝える」＝「ありのままにきれいに見せる」ことにこだわりました。

『デサント』の持つ技術を結集したスポーツウェアカテゴリー「デサント オルテライン」を核に、新たに「DESCENTE BLANC」限定販売であり、日常シーンで着用していただけるオリジナル商品カテゴリー「デサント ポーズ」も展開中です。

『デサント』ブランド 新業態での直営店

- 1号店 「DESCENTE BLANC 代官山」 2015年9月11日オープン
- 2号店 「DESCENTE BLANC 福岡」 2015年9月19日オープン
- 3号店 「DESCENTE BLANC 大阪」 2015年11月19日オープン(ららぽーとEXPOCITY内)

グローバルフラッグショップ
「DESCENTE SHOP LONDON CARNABY STREET」を
英国 ロンドンにオープン (2015年11月)

当社が2016年3月期をゴールとする中期経営計画「Compass (コンパス) 2015」では、企業としてのグローバル化および『デサント』ブランドの事業拡大を重点課題に掲げました。これに沿って、『デサント』ブランドの世界各国での拡大を目的とし、グローバルフラッグショップとしてロンドンに直営店を出店しました。

ロンドンはヨーロッパの中心都市のひとつで、ファッショントレンドの発信基地、とりわけスポーツ用品トレンドの重要な発信都市として重要な位置を占めています。「DESCENTE SHOP LONDON CARNABY STREET」が立地するカーナビーストリートは、若者や世界中から買い物客が集まる主要なショッピングエリアです。当店舗では、20～30代の若者をターゲットとし、「No.1 Premium & Authentic Sports Brand」(一番のプレミアム・オーセンティックスポーツブランド)を目指し、パフォーマンスウェアからライフスタイルウェアまで幅広い商品を展開しています。当社は「DESCENTE SHOP LONDON CARNABY STREET」に続けて、2016年中にもヨーロッパにおいて新店舗のオープンを予定しています。



「DESCENTE BLANC 代官山」の店内



「DESCENTE BLANC 福岡」の外観



「DESCENTE SHOP LONDON CARNABY STREET」の外観



エントランスの奥に続く「デサント オルテライン」コーナー

地域社会とのかかわり



デサントは、スポーツを通じたイベント活動やキャリア教育により、未来を担う子どもたちや学生、地域住民の皆様の身体と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献しています。同時に、NPOとの連携および被災地の皆様への支援などにも、継続して取り組んでいます。

特集

1

「すこやかキッズスポーツ塾 東北支援2015」

すこやかキッズスポーツ塾とは、「こどもたちがスポーツを好きになり、健康になってもらうこと」を目指す、児童向けスポーツ体験型プログラムです。元オリンピック選手などトップアスリートを塾長に迎え、スポーツをする機会が減り体力・運動能力が低下傾向にある現代の児童に、レベルの高いスポーツ体験の機会を提供します。参加費は無料です。デサントが主体の「すこやかキッズスポーツ塾実行委員会」が運営し、2006年より継続中で、2015

年で10周年を迎えました。

デサントグループでは2015年度の社会貢献活動の方向性を「子どものスポーツ機会の充実」と定め、学校や地域においてスポーツ機会を増やす活動を積極的に推進してきました。東北支援についても、2015年度から「すこやかキッズスポーツ塾」を東北地区で開催し、2015年9月に宮城県石巻市を、2016年2月には岩手県宮古市・福島県いわき市を訪問しました。

今回のプログラム内容

■学校訪問

塾長・田中 光 氏
博士(学校教育学) 流通経済大学教授



アトランタオリンピックに出場し、平行棒でオリジナル技(F難度)を発表。世界選手権 銀・銅メダリスト。現在は幼少児教育・健康教育などをテーマとして研究・指導する。



▶宮城県石巻市

学校名	実施日	プログラム
向陽小学校	2015年9月4日(金)	リズム体操・マット運動・跳び箱
北村小学校	2015年9月4日(金)	リズム体操・マット運動・跳び箱

▶岩手県宮古市

学校名	実施日	プログラム
花輪小学校	2016年2月15日(月)	リズム体操
千徳小学校	2016年2月15日(月)	リズム体操・マット運動・跳び箱
崎山小学校	2016年2月17日(水)	リズム体操・崎トレ [※] ・マット運動
田老第三小学校	2016年2月17日(水)	リズム体操・跳び箱

※崎トレ：崎山小独自の運動プログラム

▶福島県いわき市

学校名	実施日	プログラム
平第一小学校	2016年2月22日(月)	リズム体操・マット運動・跳び箱
赤井小学校	2016年2月22日(月)	リズム体操・マット運動・跳び箱

すべての学校で田中光塾長の考案による「リズム体操」を行い、各学校の要望に沿って「マット運動」「跳び箱」をあわせて実施しました。「リズム体操」では塾長自ら舞台上がり、約20分間の運動プログラムをノンストップで実施。児童たちも塾長の動きに合わせてしっかり身体を動かしていました。また「マット運動」では、塾長がキレのある模範演技を披露し、児童たちから喝采を浴びていました。

訪問できる学校は限られ、約半日のプログラムで伝えられることは僅かですが、塾長はこのプログラムを通じて、児童たちに身

体を動かす楽しさと、あきらめないで努力する大切さを指導しています。短い時間ですが全力で指導する塾長、それに応える児童たちの歓声と笑顔が体育館に満ち溢れました。プログラム終了後に、各学校には教材として使用した動画DVDをお渡しして、学校が後日、独自でプログラムを継続して実施してもらえるようにしています。デサントでは、できるだけ多くの児童がプログラムを体験し、スポーツを遊ぶ楽しさを実感する機会が持てるよう、今後もこうした活動を続けていきます。



地域社会とのかかわり

関係者の「Voice」/Teachers



016

実施小学校
石巻市立
向陽小学校 校長
奥田 茂人氏

学校教育の中で子どもたちに体力をつけることは、やさしくありません。先生も体育・音楽・図工を含む全部の教科を上手にこなしていくのは簡単ではないのです。今回は子どもたちの体力向上だけでなく、先生の研修にもなりました。

田中先生が子どもたちのやる気を引き出しています。学校の先生は、生徒の行動や言語にいちいち反応してしまうのですが、田中先生はお構いなしにどんどん進めていきます。これはなかなかできるものではなく、勉強になりました。そして、休む暇を与えず、だんだん難しくなっていくプログラムに、子どもも夢中になっていったのです。今後も数多く機会を与えてほしいと思います。学校も行事がビッシリですが、子どものためになる活動なので、運動好きの子どもを育てていくために一緒に努力していきたいです。



017

実施小学校
石巻市立
北村小学校 校長
小松 徹氏

教育委員会から今回の開催に関する連絡が回ってきて、教師と話し合い、優れた取り組みとして受け入れました。このような活動はこれまでも若干はあったものの、小規模な学校で実施していただき、ありがたく思います。田中先生独自のパフォーマンスを取り入れながら上手に教えていただきました。跳び箱でもコツがあって、それを工夫しながら教えていただき、もしかしたら「体操選手になりたい」子どもが出てくるかも、という可能性に期待しています。



018

実施小学校
いわき市立
平第一小学校 校長
沢 宏一氏

震災以降の困難な状況の中、すべての子どもたちに大きな夢を持ってもらい、その実現に向けて努力してほしいと願っていました。同時に、スポーツをする機会が減り、子どもたちの体力低下が叫ばれているので、身体を動かす楽しさを生徒全員に味わわせたいとの気持ちも強かったのです。

今回のプログラムで、トップアスリートの方に直接、接する「ありがたさ」を感じながら「本物の技」にふれ、子どもたちの夢が広がっていくのを実感しました。このような滅多にない機会を設けていただき感謝しています。今後も、ぜひ実施の継続をお願いします。



019

実施小学校
いわき市立
赤井小学校 校長
平原 浩子氏

福島県では全県を挙げて体力づくりを推進中で、本校でも朝や休み時間・授業において、年間を通して取り組んでいます。外部講師による授業は、子どもたちの意欲の喚起や技術の向上はもちろん、社会性の育成にもつながります。オリンピック出場経験があるトップアスリートに教えていただける機会は、子どもたちのプラスになると考えました。

田中先生の楽しく魅力的な指導に加え、ご自身の夢を叶えたり挫折を経験したりしたお話は説得力があり、特に卒業を間近に控えた6年生にとって心に残るテーマでした。今後も継続し、運動する楽しさや、夢を持ちそれを叶える大切さを子どもたちに広めてほしいです。

地域訪問 (塾長/野沢 咲子)

子ども向け体操教室

場所: まちの寄所うめばたけ

日程: 2015年9月5日(土) 10:00~11:00

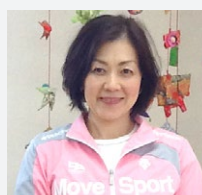
対象: 石巻市およびうめばたけ図書室を利用する小学生以下15名

内容: リズムダンス

史上最年少選手としてモントリオールオリンピックに体操で出場し、日本が不参加だったモスクワオリンピックでも日本代表に選出された野沢咲子氏を塾長に迎え、塾長自らがアレンジした音楽に合わせてダンスを指導。年齢差とダンス経験差のある参加者を、3つのグループに分けてゆっくりと丁寧に指導しました。各グループとも上手な児童がリードしていくと、初めはぎこちなかった動きも次第にリズムに合うようになり、最後には各グループが自分たちで考えた「決めポーズ」を披露しました。



関係者の「Voice」/Instructor



020

塾長

トータル・オリンピック・レディーズ会 幹事
野沢 咲子氏

トータル・オリンピック・レディーズ会 (TOL) の幹事をしており、TOLを通して今回のお話をいただきました。オリンピックに出場した経験を活かして何かできることがあれば広めていきたいという気持ちを持っていたので、お話をいただいたときに、ぜひ子どもたちにリズム体操を通して身体を動かす楽しさを感じて

もらいたい、と思いました。

今回は宮城県石巻市という、東日本大震災で甚大な被害を受けた場所での指導だったので、私自身も、とても強い思いがありました。震災のあと、こんな私でも何かお役に立つことはないのだろうかと思っていましたので、今回、石巻の子どもたちとの触れ合いを楽しみにしていました。小学1年生から6年生までという、年齢差のある子どもたちの指導経験はあまりないのでどうなるかと思いましたが、それぞれのレベルで一生懸命、頑張ってくれました。高校生のボランティアのお姉さんたちもお手伝いしてくれたので、和気あいあいとした中でとてもスムーズに進められました。

可愛い子どもたちと楽しく過ごせて、私自身が癒されました。とても笑顔の可愛い子どもたちでした。未来ある子どもたちに今後たくさんの経験を重ねてもらいたいと思います。可能性を広げるためにも、各地でこのようなイベントを数多く開催していただけたら、と思います。

地域社会とのかかわり



デサントは、スポーツを通じたイベント活動やキャリア教育により、未来を担う子どもたちや学生、地域住民の皆様の身体と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献しています。同時に、NPOとの連携および被災地の皆様への支援などにも、継続して取り組んでいます。

特集

2

スポーツを通じて感動を伝える キャリア教育支援活動「ドリカムスクール」2015

デサントは、株式会社ガンバ大阪と協働で、大阪府茨木市にある学校法人追手門学院高等学校において、キャリア教育「ドリカムスクール」を実施しました。

この「ドリカムスクール」は、高校1年生から3年生の「スポーツコース」の生徒108名を対象に、スポーツ企業である当社の役割や業務内容を理解し、スポーツに一層の興味を持ってもらうこと

が目的です。

「スポーツコース」は2020年東京オリンピックを目指す男女強化選手育成クラスで、男女サッカーとアメリカンフットボール、女子ラグビーの選手が在籍しています。そのうち、男子サッカーの選手たちはガンバ大阪ユースチームに所属されています。

プログラムの概要

「ドリカムスクール」2015は、スポーツに深く関わる若者たちに、スポーツ社会で前向きに働く社会人との対話・コミュニケーションを通じて、職業観や働くことに対する「意欲・態度」を促すのが目的です。プログラム進行は、2012キャリア教育アワード経済産業大臣賞を受賞したNPO法人JAE (Japan Academy of Entrepreneurship) が主に行いました。

体験学習 4つのステップ



NPO法人JAEはコーディネートと ファシリテートを担当



2015年度の実施日程

10月31日(土)	2・3時限目	1・3年生オリエンテーション
11月14日(土)	1・2・3時限目	1・3年生授業
	1時限目	2年生オリエンテーション
11月28日(土)	1・2時限目	2年生授業

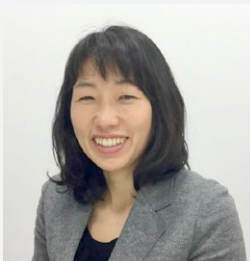
授業カリキュラム

1年生：38名	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション：ドリカムスクールの狙い、チームビルディング ●スポーツ業界について（デサント 人事課） ●スポーツ企業の仕事と具体的業務内容の紹介 ●グループワークと発表：シューズの機能性・特徴をヒントに価格を推測する
2年生：37名	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション：ドリカムスクールの狙い、チームビルディング ●スポーツウェアの科学（デサント 開発部） ●競技ウェアの紹介と機能性の解説 ●グループワークと発表：2020年夢のスポーツウェア・シューズを開発する
3年生：33名	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション：ドリカムスクールの狙い、チームビルディング ●ガンバ大阪 会社紹介（ガンバ大阪 事業本部） ●クラブチームの運営体制と社会的役割について ●グループワーク：クラブ活性のための次年度戦略を練る



地域社会とのかかわり

関係者の「Voice」/Facilitator



NPO法人JAE 教育コーディネーター

荒川 有紀氏

「スポーツ関連の仕事の可能性は大きく広がっている」

子どもたちが日々の学びを実社会でどう活かせるか？将来につながっているのか？を普通の授業で話す機会は多くありません。また、働くことについて学ぶ機会も、地域活動や家庭生活でも少ないのが実情です。子どもにとって、勉強と仕事・今と将来が結び付かないと、成長に伴い、だんだん不安になってきます。「ドリカムスクール」は、日々、経験している学びを将来につなげることが目的です。

今回の授業は、プロスポーツ選手を目指す「スポーツコース」の生徒を対象に実施しました。しかし、プロになれるのはほんの一握り。たとえ選手になれなくてもスポーツ関連の仕事の選択肢はたくさんあり、将来に向けていろいろな可能性が広がっているのを知ってもらうきっかけになればと思います。「ドリカムスクール」は夢を叶える力を付けるプログラムなので、多くの子どもたちに届けて、自分の夢を語り、また互いに伝え合える友人が増えることを願っています。

021

プログラム進行

022

主催者・講師

株式会社ガンバ大阪
事業部
パートナー営業課
吉村 友寿氏

デサント様および追手門学院様が、共にわれわれのパートナーであることに加え、「スポーツコース」には、ガンバ大阪のユース選手も在籍しており、「ドリカムスクール」への参加は非常に意義深いものでした。

授業では、ガンバ大阪の価値をより高めるため、どのように集客し、ブランドづくりをすればいいかなどをグループワークで討論し、生徒たちからたくさんの意見やアイデアが出され、私自身にとってもよい機会となりました。今後は、プロフェッショナルなスポーツチームの試合運営を1日体験するなど、職業体験の観点から、実践の場を生徒に提供することも検討していきたいです。

023

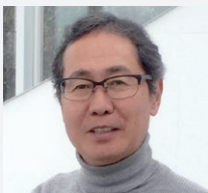
実施校

学校法人
追手門学院
高等学校 様

「ドリカムスクール」は、座学だけでなく実際の活動もあり、生徒も生き生きと取り組みました。1年生には仕事を知るきっかけ、2年生には卒業後の進路を具体的に考える企画案となり、3年生の一部にとっては自分の将来を考えるきっかけとなりました。

学校のほかのカリキュラムとの関係で限界はありますが、生徒たちのグループ発表に至るプロセスで、深掘りする時間をもっと取れば、効果が上がったに違いありません。今後は、参加した生徒たちの成長を見守りながら、生徒主体のクラス運営を行うなど、指導に活かしていきます。さらに、グループワークやプレゼンテーションにおける生徒の変化にも期待しています。

関係者の「Voice」/Organizer・Instructor



024

主催者・講師

株式会社デサント
CSR推進室
加藤 吉幸

「プロになりたいと思っている人は？」と問いかけると、ほとんどの生徒が手を挙げたのが驚きでした。スポーツを生業とする私たちとスポーツへの夢を抱く生徒が交流する機会でもあるので、従来の出前授業のように社会人講師から生徒へのインプット型のキャリア教育とは違って、ユーザー（生徒）とメーカー（デサント）あるいはアスリート（選手）とクラブチーム（ガンバ大阪）という双方向型の授業が、より望ましいと感じました。

授業は短期間でしたが、スポーツ業界全体を知り、スポーツ企業の社員の仕事を知り、クラブチームの運営を知ることで、スポーツに関して、それまで狭かった生徒たちの視野がかなり広がったと思います。



025

主催者・講師

株式会社デサント
人事・総務室 人事課
馬場 絵理子

私はサッカースパイクの価格当てクイズなどで、デサントがどのように商品づくりしているかを伝えました。普段からスポーツの場面で使っているだけあって、生徒たちはさすがに鋭い視点で商品の特徴を捉えていたのが印象的でした。

高校生に「仕事とは」「働くとは」を具体的に伝えるのは簡単ではありませんが、「ドリカムスクール」のように「今、学校で学んでいることが今後どう活かせるのか」という視点での授業は有意義だと思います。「スポーツコース」の生徒たちにとって身近な題材である、スポーツ用品の開発やクラブ運営に触れ、それらが実際には、どんな人達のどんな仕事で成り立っているかに興味を持ってもらうのが大切だと感じました。



従業員とのかかわり

グローバル化に対応した人材育成、女性のさらなる活躍を推進する「才職健美プロジェクト」など、人材育成およびダイバーシティを中心に、新たな施策に取り組んでいます。

▶ デサントの求める人材像

● チャレンジできる人

お客様起点を忘れずに、自ら高い目標を設定し、責任感を持ってやりきり、企業価値向上に貢献できる人。

● チェンジできる人

時代や環境の変化に敏感で、常に改革・改善意識を持ち、失敗を恐れず、スピード感を持って仕組みを創造もしくは変えて組織を強くできる人。

● コミュニケーションが図れる人

相手の考えや気持ちを理解し、尊重しながら自分の意思を分かりやすく伝えることができ、本質的な対話ができる人。

● グローバルに活躍できる人

グローバルな視点を大切にし、言語・異文化等への関心・学習意欲を持ち、好奇心・行動力・向上心があり、国内外問わずどこでも能力発揮できる人。

▶ 人材育成

デサントでは、会社の永続的な発展に必要な人材の育成を目的に、「視野を広げ、業務遂行能力、専門知識、思考能力を高める」ための教育・研修を実施しています。

● 顧客サービスのさらなる向上を目指した人材育成の強化「スポーツサイエンススペシャリスト (SSS)」の育成

2013年より実施している、スポーツ科学に関する基礎知識や各競技の動作特性、消費行動などを学ぶ社内資格制度「スポーツサイエンス・スペシャリスト」の認定者が総計198名になりました。

当社の強みである「モノ作り・商品開発」の強化のために、企画・開発の担当者はもちろん、お客様に直接接する営業や販売員が、商品や機能に対する知識を一層、深めることで営業活動や顧客サービスの向上にもつながっています。

● グローバル化に対応した人材育成

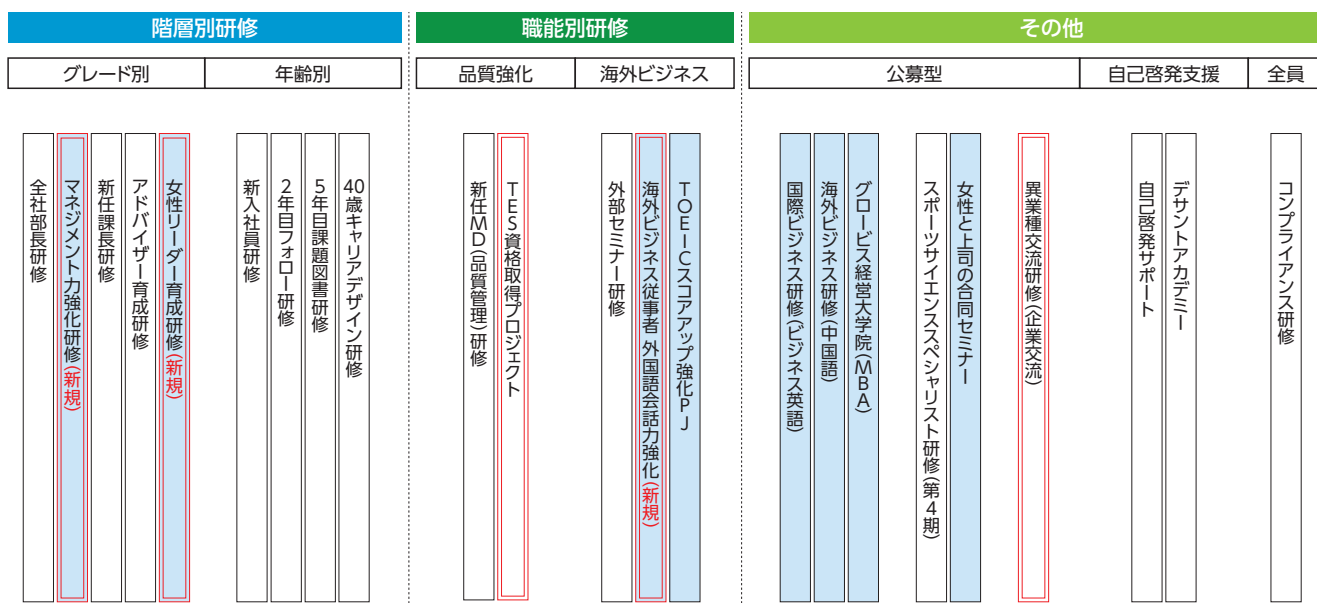
デサントグループの中期経営計画「Compass 2015」に掲げた基本方針“5つのグローバル化の推進”に向けて、グローバルに活躍するための人材育成施策を重点ポイントに据えています。

具体的には、ビジネス英語とビジネススキルなどを身につけるための語学研修および語学学習支援、論理的思考を鍛えるためのマネジメントスクール研修などがあります。

主な実例：

- ・ 国際ビジネス研修生として、米国ワシントン大学にて英語でマーケティングを学ぶ
- ・ 海外ビジネス研修生として、上海・韓国・香港の海外関連会社にて、それぞれの国における実際のビジネス現場を体験

教育研修体系図



□ 選抜型 □ 重点ポイント

従業員とのかかわり

▶ダイバーシティ

競争力のある企業になるためには、全社員のレベルアップが必要不可欠です。性別、年齢を問わず、意欲を持って活躍できる人事制度、職場環境の構築、整備を推進していきます。

●女性の活躍を推進する

「才職健美プロジェクト」の運営

社会における女性に対する意識の変化、そして企業における女性に対する意識の変化を受けて、仕事に対する女性の意識の変化が起きています。これらの変化にしなやかに対応し、女性自らが意識して、多様な活躍を目指せるように、女性社員を中心として、当プロジェクトを運営しています。

2015年3月に下記の目標を発表して活動を進めてきました。

2020年に女性基幹職（SP・MG）を20名、
総合職エリアコース入社女性のLグレード
（リーダースタッフ）を30名とする

この目標を実現するため、下記の施策について1年間にわたり検討を行いました。

●基幹職に対する施策

- ① ○JT見直しとメンターシステムの導入
従来の上司・部下の「縦」の関係とともに「斜め」の関係のメンターシステムも取り入れ、基幹職に向けての準備を進める
- ② プロジェクト登用
全社横断的なプロジェクトなどに参画することで、業務の幅を広げ、経験不足を補う
- ③ 社長メッセージ
基幹職に昇格した女性を集めて、社長からの直接メッセージを発信する
- ④ 研修メニュー
管理業務としての実務ではなく、目標達成のためのチームマネジメントに関するスキルアップを目的とした研修を行う

●総合職エリアコース入社女性に対する施策

- ① ジョブローテーションを活用した人材育成
- ② Lグレード（リーダースタッフ）に求める能力開発
指導方法を見直して公平性のある指導を行い、正しくフィードバックを行う
- ③ 研修機会の提案
社内外の研修機会を提供して、1つ上のステップを目指し意識改革を行う

●プラットフォームの整備

- ① 専任担当者の設置
2016年度より人事・総務室に専任担当者を設置する「才職健美プロジェクト」を発展的に解消して委員会化し、引き続き活動を実施していきます。

●障がい者雇用の促進

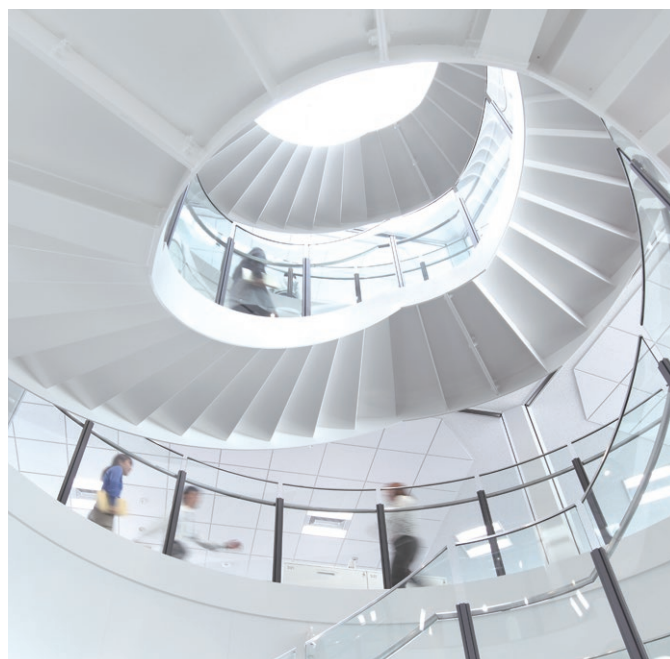
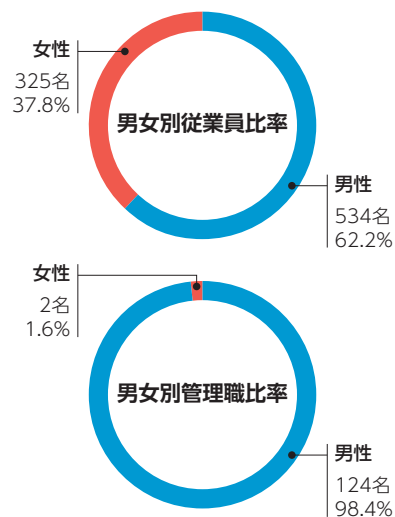
デサントでは、障がい者と健常者が分け隔てなく働ける職場環境づくりを目指しています。法定障がい者雇用率は、2015年度は2.0%になりましたが、さらなる雇用の拡大を達成できるよう、引き続き働きやすい職場づくりに努めていきます。

●シニア人材の活用

デサントでは、定年退職者に対する再雇用制度の充実を図るなど、シニア人材が貴重な戦力として働き続けられるようサポートを行っています。

従業員構成比率

(2016年3月末現在)



▲大阪オフィス
各フロアを繋ぐコミュニケーションボイド階段

海外での取り組み

デサント코리아株式会社の 社会貢献活動

▶デサントスポーツ財団 (DESCENTE SPORTS FOUNDATION) の活動

2013年にデサント코리아が設立した「デサントスポーツ財団」は、体育インフラを拡充してスポーツの大衆化を図り、下記のような活動を通じて地域スポーツの発展に寄与しています。

●スポーツ有望株支援

期間：2015年3月～

内容：経済的に恵まれない生活環境にありながら、全国大会3位入賞以上の競技力を持つ優秀者に、年間1,000万ウォンとスポーツ用品を支援

意義：厳しい環境下で、成長の可能性がある有望なスポーツ人材の成長を支援する

●児童／青少年スポーツ活動支援

運動活性化プログラム「MOVE SPORT」

期間：2015年5～11月

内容：ソウル地域の中高生スポーツプログラム支援（教材・教師講師費・物品など）

意義：青少年の身体的・精神的健康増進を狙い、スポーツ活動の機会を提供

●スポーツ施設設立支援

スポーツ施設の設立と運営を支援して、地域スポーツの発展を支援しています。

・チャムシル ムーブフットサルパーク (JAMSIL MOVE FUTSAL PARK) /2015年8月～

・ノドゥルナル ムーブフットサルパーク (NODEULNARU MOVE FUTSAL PARK) /2016年1月～

・ソンハクダイ ムーブスポーツパーク (SONGHAKDAE MOVE SPORT PARK) /2016年1月～

●国内／海外へのスポーツ用品支援

韓国野球委員会 (KBO) の、ラオスの野球普及活動を支援するため、野球用品を提供しています。

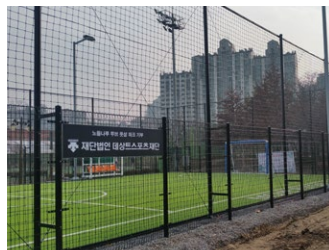
期間：2016年1～4月

内容：グッドネイバーサービス/KBO野球発展委員会/ラオス教育体育部/ソウル市によるスポーツ用品支援で、靴およびグローブを合計で26,022ピース提供

意義：海外の開発途上国のスポーツ活動の支援により、スポーツの楽しさを分かち合う文化を醸成



▲スポーツ有望株支援



▲スポーツ施設 (ソンハクダイ)

▶「SAVE THE PENGUIN」キャンペーン

「SAVE THE PENGUIN」に関連する、地球温暖化防止のための様々な環境キャンペーンを展開しています。



▲キャンペーンポスター

●Green Challenge

▶Plant for the Planet

期間：2015年4月3日

内容：植林

場所：蚕室漢江公園

参加者：デサント코리아役員・従業員126名/UNEP (United Nations Environment Programme: 国連環境計画)

目的：環境保護

▶良才市民の森&釜山市民公園の環境保護

期間：2015年4～6月

内容：環境保護活動

場所：良才市民の森&釜山市民公園

参加者：デサント코리아役員・従業員276名

目的：環境保護

●環境にやさしいTシャツを販売、収益金を寄付

期間：2015年4～6月

内容：再生繊維と環境にやさしい染工法を使用したキャンペーンTシャツを製作。ブランド別に全国の売場で販売し、販売収益金を全額寄付。

●コラボレーション才能寄付 (ボランティア活動)

期間：2015年4～6月

内容：キャンペーンの広報のために、セレブ (KBSのお笑い番組「ギャグコンサート」のギャグマンチーム) と才能寄付コラボレーションを実施。キャラクターグラフィックに直接参加して、広報モデルとして活動を展開。

●南極生態研究を後援

期間：2015年4月～

内容：ユネスコ韓国委員会 (UNEP National Committee of Korea) と共に UNEP GRID-christchurchの南極生態研究を後援。特にペンギンの個体数の変化と生態研究プロジェクトに関連した、気候変動が南極のペンギンに及ぼす影響についての研究 (生態環境モニタリング) を支援。



▲Plant for the Planet



▲キャンペーンTシャツ

コーポレート・ガバナンスとコンプライアンス

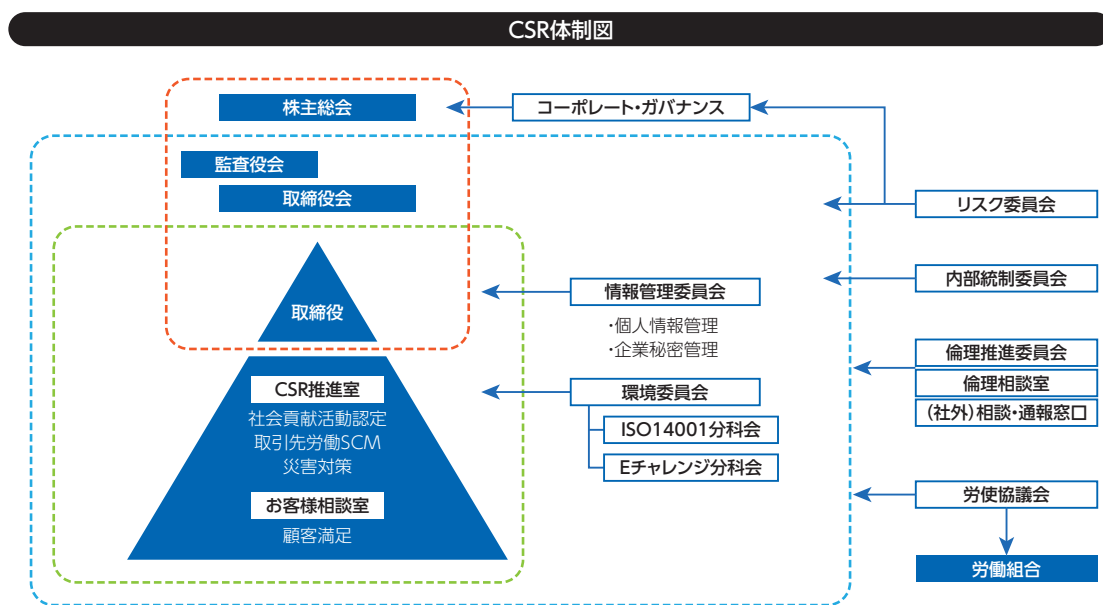


ステークホルダーの皆様の信頼にお応えするために、「コーポレート・ガバナンス」「内部統制」の体制を構築し、企業の持続性の維持と企業価値の向上を目指すための取り組みを、相互に関連を持たせながら進めています。

▶コーポレート・ガバナンス

「すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」—この企業理念に則り、法と企業倫理に従い、誠実で公正かつ透明に事業活動を展開することが、企業の社会的責任であると認識し、コーポレート・ガバナンスの充実に向けた取り組みを通じて企業価値を継続的に高めることを、経営上の最も重要な課題のひとつとして位置付けています。

その実現のために「デサント倫理綱領」「デサント倫理行動基準」を定め、株主の皆様やお客様をはじめ、お取引先、地域社会、従業員など様々なステークホルダーとの良好な関係を築くとともに、株主総会、取締役会、監査役会などの法律上の機能に加えて、様々な手段を講じてコーポレート・ガバナンスの充実を図っています。



▶コンプライアンス

企業活動において根本となる姿勢を「デサント倫理綱領」に定める一方で、社員一人ひとりが、働く上で指針とすべき基準を「デサント倫理行動基準」として定めています。これらの順守を推進するために倫理推進委員会を設置し、健全で品格に富む企業風土の醸成に努めています。また、職制を通じた解決が難しい問題、あるいはほかの社員の倫理に反する行動などの相談に対処するため、社内に「デサント倫理相談室」、社外には法律事務所を相談窓口として設けています。

2015年度 倫理推進委員会活動

開催 : 6月、8月、10月、2016年2月
 主な内容 : 各部署の倫理的問題に対するルールづくりと全社研修の立案
 分科会 : 3つのグループに分かれてそれぞれのテーマについて検討
 開催は随時。総括は2016年2月
 4月 : 経営層向けコンプライアンス研修を実施
 11月 : 全社コンプライアンス研修を実施
 随時 : 販売員コンプライアンス研修

▶リスク管理

当社に重大な影響を与える事態の発生防止と万一の発生時の損害・影響の最小化、ならびに事業の継続性および業務の適正性の確保を目的に、「リスク管理規程」「リスク管理運用規則」を定めています。これらに則り、リスク委員会ではリスク全般を可視化し、予防と発生時の対策の整備を行い、対策の実施状況に対する担当取締役の監視とレビューの後、取締役会に報告します。

2015年度におけるデサント単体の重大リスク対象は43項目あり、このうち3項目のリスクが顕在化し、対策と改善を実施しました。

▶情報管理

「企業秘密管理規程」「企業秘密管理基準」制定するとともに、内容をわかりやすくした「企業秘密ガイドブック」を全管理職に説明のうえ、管理・徹底を促進しました。また、デサントが保有する個人情報及び特定個人情報の適正な保護を実現することを目的として「個人情報保護規程」「個人情報保護規則」に方針を定めています。毎年、一齐に「全社の個人情報棚卸し」を実施することで、個人情報の属性・件数・管理者・保管状態などを把握します。

2015年度における機密情報および個人情報の漏洩はありませんでした。

サプライチェーンマネジメント

デサントは、サプライヤーの皆様と公正なパートナーシップを築き、人権や労働条件の改善、環境保全に協力し、共に発展していきたいと考えます。そのために、すべての仕入先と「デサント・サプライヤーCoC(取引行動規範)」の誓約を交わし、また工場のCSR監査も実施しています。

▶2015年度 第三者機関によるCSR監査結果

2015年度は13工場に対しCSR監査を実施しました。指摘された項目に関して仕入先および工場と連携して、是正計画を練って改善に取り組みました。

監査項目

1. 児童および未成年労働、2. 強制労働、3. 安全衛生、4. 結社の自由、5. 差別、6. 懲戒慣行、7. 労働時間、8. 賃金、9. 環境

国別実施工場

中国8/ベトナム3/インドネシア1/ミャンマー1

アイテム別の不適合比率

生産アイテム	2015年度監査実施工場数	不適合が全項目の10%未満	不適合が全項目の10%以上	不適合が全項目の20%以上
ウェア	10	7	2	1
シューズ	1	1	0	0
アクセサリー	2	1	0	1
計	13	9	2	2

▶2010～2015年度累計

国別実施工場

中国59/ベトナム15/インドネシア6/ミャンマー6/タイ2

アイテム別の不適合比率

生産アイテム	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	不適合が全項目の10%未満	不適合が全項目の10~19%	不適合が全項目の20%以上
ウェア	2	11	19	11	14	10	35	21	11
シューズ	0	1	2	4	1	1	3	3	3
アクセサリー	0	0	5	4	1	2	7	4	1
計	2	12	26	19	16	13	45	28	15

●デサントサプライヤーCoC(取引行動規範)

<http://www.descente.co.jp/company/csr/post0143.html>

当社の取引行動規範について、世界スポーツ用品工業連盟(WFSGI)の行動規範に基づき次の内容で定めました。

1. 法律の遵守

2. 労働条件

- ①強制労働
- ②差別
- ③組織及び団体交渉の自由
- ④賃金
- ⑤労働時間
- ⑥権利と休暇
- ⑦児童労働
- ⑧健康と安全
- ⑨嫌がらせあるいは虐待

3. 環境

4. 地域社会との係わり合い

5. 企業内の独自の規範

6. 証明

7. 遵守



▲縫製工場の適切な作業環境
(アイロン掛け工程)



▲縫製工場の適切な作業環境
(製品検査工程)



▲生地裁断作業での安全手袋の着用を徹底



▲保護メガネ、手袋等の個人防護具の着用



▲救急キットの適切な配置と表示

環境への積極的な取り組み

デサントは、環境経営の指針として「デサント環境基本理念」「デサント環境方針」を定めるとともに、取締役を中心に構成される「環境委員会」を設置しています。環境委員会のもとに環境保全活動を推進するためにISO14001分科会とEチャレンジ分科会を置き、環境負荷・環境リスクを低減するとともに、それらの発生を予防するための行動を積極的・継続的に行っています。

▶環境基本理念と環境方針

「デサント環境基本理念」

デサントは、地球環境保全が最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で積極的・継続的に環境保全に配慮して行動する。

「デサント環境方針」

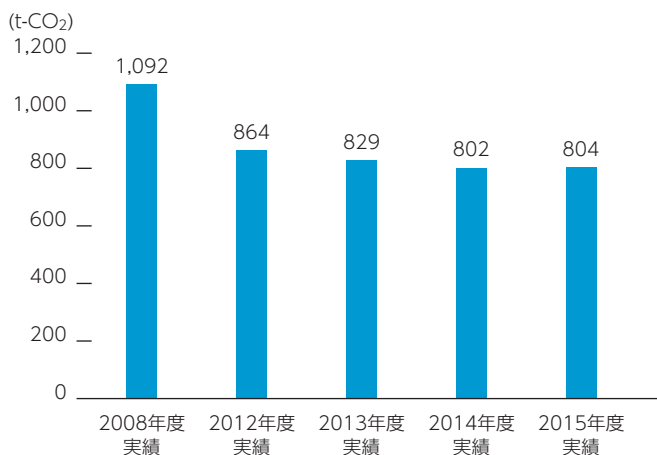
デサント環境基本理念に基づき、環境保全活動を推進し、環境負荷・環境リスクを低減し、その発生を予防するための行動を積極的・継続的に行う為に、下記の事項を定める。

1. 環境保全活動を推進させるため、「環境委員会」を設置する。
2. 環境関連の法律・規制・協定等を遵守し、環境保全に取り組む。
3. 省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の削減に、全ての領域で取り組む。
4. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定して全員で取り組み、その結果を見直して継続的改善・向上を図る。
5. 環境負荷低減型の商品開発、商品づくりを行う。
6. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努める。
7. 環境教育を実施し、全従業員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図る。
8. 環境基本理念、環境方針及び環境保全の実施状況については、必要に応じて公開する。

▶CO₂排出量の削減目標

2015年度のCO₂排出量目標は792t-CO₂。これは2014年度から10t-CO₂の削減目標でしたが、実績は804t-CO₂となり、達成できませんでした。2008年度から2014年度までで290t-CO₂の削減をしてきましたが、空調設備にかかわる電力量の増加を主原因に、2015年度は昨年より増加した結果となりました。削減に向けた日常の取り組みを維持すると共に各設備の効率を高める投資を進めてまいります。

CO₂排出量の推移



※2014年度から名古屋支店電気使用量を算入

2015年度 国内事業所別CO₂排出量

単位:t-CO₂

事業所名	実績
大阪オフィス	306.9
東京オフィス	455.8
札幌支店	15.2
仙台営業所	6.4
名古屋支店	13.1
広島営業所	2.0
福岡支店	4.6
全社計	804.0

要素別排出量

単位:t-CO₂

要素	実績
電気	573.3
ガス	207.1
水道	4.7
ゴミ	18.9
計	804.0

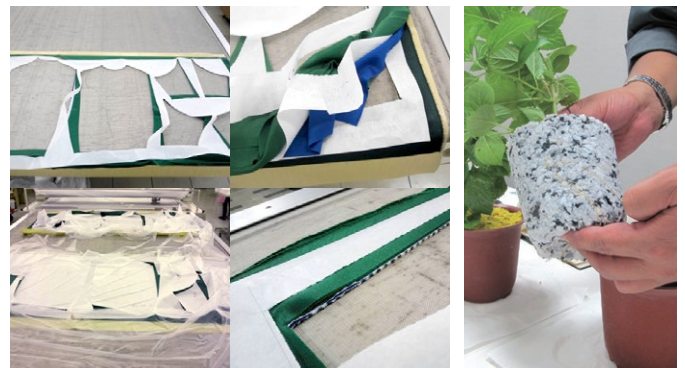
▶環境保全取り組み事例

西都工場の太陽光発電システムが順調に稼働

デサントアパレル株式会社 西都工場に設置した太陽光発電システムがこの一年間に発電した電気量は、およそ57,100kWh(当初予測比103%)。これは、西都工場で一年間に消費する総電力の約14%に当たります。

廃棄繊維をリサイクルし軽量土壌として再生化

デサントアパレルの各工場から出る裁断端切れや廃番生地を回収し、植物栽培用の軽量土壌に再生する取り組みに参加しています。2015年度は、総量で約8トン再生土壌化しました。



▲縫製工場から出る裁断ハギレ

▲裁断ハギレを再生した軽量土壌のプランター

DESCENTE



コーポレートシンボルマークの由来

DESCENTEとは、フランス語で「滑降」の意味。
スピリットマークは、スキーの基本技術である直滑降、斜滑降、横滑りを表現しています。
つねに最もすぐれたものに目を向け、時代の要求を先取りし、
積極的に製品化していく果敢なデサントスピリットのシンボルです。



コミュニケーション・オン・
プログレス

国連グローバル・コンパクトの原則の実践
状況および国連の様々な目標の支持につい
て、この**コミュニケーション・オン・プログレス**
を通じて報告しています。

内容に関するご感想・ご意見を歓迎します。

本レポートに関するお問い合わせ

株式会社デサント CSR推進室

TEL:06-6774-0327/FAX:06-6774-2605

当社CSRサイト

<http://www.descente.co.jp/company/csr/>